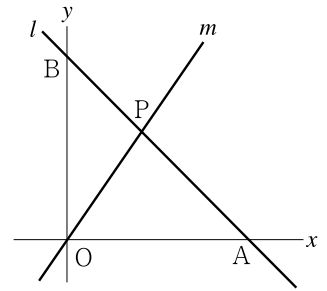


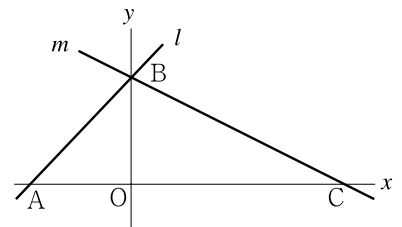
1 関数と図形

■ 確認問題 1 ■ 右の図のように、直線 $l \cdots y = -x + 10$ と直線 $m \cdots y = \frac{3}{2}x$ の交点を P とし、 l と x 軸、 y 軸との交点をそれぞれ A 、 B とするとき、 $\triangle OPA$ と $\triangle OPB$ の面積をそれぞれ求めよ。ただし、座標軸の 1 目もりを 1 cm とする。



✖ □

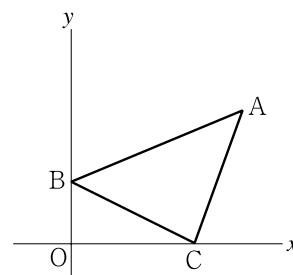
■ 確認問題 2 ■ 右の図のように、直線 $l \cdots y = x + 6$ と x 軸、 y 軸との交点をそれぞれ A 、 B とし、 B を通り傾きが $-\frac{1}{2}$ の直線 m と x 軸との交点を C とするとき、点 A を通り、 $\triangle ABC$ の面積を 2 等分する直線の式を求めよ。



✖ □

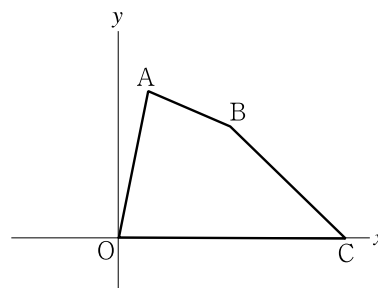
■確認問題3■ 右の図のように、3点 $A(8, 6)$ 、 $B(0, 3)$ 、 $C(6, 0)$ を頂点とする $\triangle ABC$ がある。 y 軸上の $y > 0$ の部分に点 P を、 $\triangle ABC = \triangle PBC$ となるようにとるとき、点 P の座標を求めよ。

✿□



■確認問題4■ 右の図のように、4点 $O(0, 0)$ 、 $A(1, 5)$ 、 $B(4, 4)$ 、 $C(8, 0)$ を頂点とする四角形 $OABC$ がある。このとき次の問いに答えよ。

- (1) x 軸上の $x < 0$ の部分に点 P を、四角形 $OABC = \triangle BPC$ となるようにとるとき、点 P の座標を求めよ。



- ✿□(2) 点 B を通り、四角形 $OABC$ の面積を2等分する直線の式を求めよ。